

(別紙5-1)

危険性が確認された構造計算書偽装物件(マンション)に係る居住者の退去状況等<sup>(注1)</sup>

(平成18年2月20日17時現在)

	総入居戸数 <sup>(注2)</sup> (当初)	うち退去済	うち入居中			
			2月28日までの退去予定	3月1日以降退去予定又は退去日未定	その他	
分譲 (11棟)	309戸	<u>255戸</u> (+2)	<u>54戸</u> (-2)	12戸	20戸	22戸
賃貸 (7棟)	197戸	189戸	8戸	1戸	0戸	9戸
計	506戸	<u>444戸</u> (+2)	<u>62戸</u> (-2)	13戸	20戸	31戸

(注1)「危険性が確認された構造計算書偽装物件(マンション)」とは、 $Q_u/Q_{un}$ (保有水平耐力/必要保有水平耐力)値が0.5未満であり、震度5強程度の地震で倒壊するおそれがあるものをさす。

(注2)空室を含めると、総戸数は分譲332戸、賃貸213戸の合計545戸